

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公表番号】特表 2001-525172 (P2001-525172A)

【公表日】平成 13 年 12 月 11 日 (2001.12.11)

【出願番号】特願 2000-523343 (P2000-523343)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
C 0 7 K 14/47 (2006.01)
C 0 7 K 16/18 (2006.01)
C 0 7 K 19/00 (2006.01)
C 1 2 N 1/15 (2006.01)
C 1 2 N 1/19 (2006.01)
C 1 2 N 1/21 (2006.01)
C 1 2 P 21/02 (2006.01)
C 1 2 P 21/08 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 C 0 7 K 14/47
 C 0 7 K 16/18
 C 0 7 K 19/00
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 P 21/02 C
 C 1 2 P 21/08
 G 0 1 N 33/15 Z
 G 0 1 N 33/50 Z
 C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 5 日 (2005.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列と少なくとも 90% 同一であるアミノ酸残基の配列を含むポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド：

(a) 配列番号 2 に示すアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列；

(b) 配列番号 4 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 85 (Asp) までのアミノ酸配列；

(c) 配列番号 3 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 89 (Asp) までのアミノ酸配列；

ノ酸配列；

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1 (Met) からアミノ酸残基番号114 (Asp) までのアミノ酸配列。

【請求項2】 以下よりなる群から選択される単離されたポリヌクレオチド分子；

(a) 配列番号1に示すヌクレオチド219からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(b) 配列番号1に示すヌクレオチド168からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(c) 配列番号1に示すヌクレオチド156からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(d) 配列番号1に示すヌクレオチド82からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；および

(e) 上記(a)、(b)、(c)または(d)に相補的なポリヌクレオチド分子。

【請求項3】 配列番号15のヌクレオチド1からヌクレオチド342を含む、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド配列。

【請求項4】 前期ポリペプチドが以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列；

(a) 配列番号2に示すアミノ酸番号47 (Lys) からアミノ酸番号114 (Asp) までのアミノ酸配列；

(b) 配列番号4に示すアミノ酸番号1 (Met) からアミノ酸番号85 (Asp) までのアミノ酸配列；

(c) 配列番号3に示すアミノ酸番号1 (Met) からアミノ酸番号89 (Asp) までのアミノ酸配列；

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1 (Met) からアミノ酸残基番号114 (Asp) までのアミノ酸配列；

を有する、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

【請求項5】 前記ポリペプチドが、配列番号2に示すアミノ酸番号47 (Lys) からアミノ酸番号114 (Asp) までのアミノ酸残基の配列からなる、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】 前記ポリペプチドがモチーフ1～5を含有し、モチーフ1が配列番号2のアミノ酸50～56に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ2が配列番号2のアミノ酸61～66に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ3が配列番号2のアミノ酸71～76に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ4が配列番号2のアミノ酸87～92に対応するアミノ酸の配列であり、そしてモチーフ5が配列番号2のアミノ酸95～100に対応するアミノ酸の配列である、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項7】 以下の機能的に結合した成分を含んでなる発現ベクター；

転写プロモーター；

配列番号2に示すアミノ酸番号47 (Lys) からアミノ酸番号114 (Asp) までのアミノ酸配列と90%同一である、zsig45ポリペプチドをコードするDNAセグメント；および

転写ターミネーター。

【請求項8】 前記DNAセグメントに作用可能に連結された分泌シグナル配列をさらに含む、請求項7記載の発現ベクター。

【請求項9】 前記分泌シグナル配列が、

(a) 配列番号2のアミノ酸1～46；

(b) 配列番号3のアミノ酸1～21；および

(c) 配列番号4のアミノ酸1～17；

からなる群から選択されるアミノ酸配列をコードする請求項8記載の発現ベクター。

【請求項10】 前記DNAセグメントによりコードされるポリペプチドを発現する、請求項7記載の発現ベクターが導入された培養細胞。

【請求項11】 融合蛋白質をコードするDNA構成体であって、

(a) 配列番号2のアミノ酸1～46；

(b) 配列番号3のアミノ酸1~21; および

(c) 配列番号4のアミノ酸1~17;

よりなる群から選択されるアミノ酸の配列と少なくとも90%同一であるポリペプチドをコードする第1のDNAセグメント; 並びに

追加のポリペプチドをコードする第2のDNAセグメント;

を含んでなり、前記第1のDNAセグメントと第2のDNAセグメントがフレーム内で連結している、

融合蛋白質をコードするDNA構成体。

【請求項12】 以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列と少なくとも90%同一であるアミノ酸残基の配列を含む単離されたポリペプチド:

(a) 配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列;

(b) 配列番号4に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号85(Asp)までのアミノ酸配列;

(c) 配列番号3に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号89(Asp)までのアミノ酸配列;

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1(Met)からアミノ酸残基番号114(Asp)までのアミノ酸配列。

【請求項13】 以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列:

(a) 配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列;

(b) 配列番号4に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号85(Asp)までのアミノ酸配列;

(c) 配列番号3に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号89(Asp)までのアミノ酸配列;

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1(Met)からアミノ酸残基番号114(Asp)までのアミノ酸配列;

を含む請求項12に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項14】 前記アミノ酸残基の配列が、配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのものである、請求項12記載の単離されたポリペプチド。

【請求項15】 前記アミノ酸残基の配列が、モチーフ1~5を含有し、モチーフ1が配列番号2のアミノ酸50~56に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ2が配列番号2のアミノ酸61~66に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ3が配列番号2のアミノ酸71~76に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ4が配列番号2のアミノ酸87~92に対応するアミノ酸の配列であり、そしてモチーフ5が配列番号2のアミノ酸95~100に対応するアミノ酸の配列である、請求項12記載の単離されたポリペプチド。

【請求項16】 請求項7記載の発現ベクターが導入された細胞を培養し、そして細胞により産生されたzsig45ポリペプチドを単離する、
ことを含んでなる、zsig45ポリペプチドの製造方法。

【請求項17】 zsig45ポリペプチドに対する抗体の製造方法であって、

(a) 配列番号2のアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までの、アミノ酸の連続配列と少なくとも90%同一である、9~67アミノ酸からなるポリペプチド; および

(b) 配列番号2のアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列からなるポリペプチド;

よりなる群から選択されるポリペプチドであって動物中で免疫応答を誘発して抗体を産生するものを動物に接種し、そして

動物から抗体を単離する、

ことを含んでなる方法。

【請求項18】 zsig45ポリペプチドに結合する、請求項17記載の方法により產生される抗体。

【請求項19】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項18記載の抗体。

【請求項20】 請求項12記載のポリペプチドに結合する抗体。

【請求項21】 被験試料中のzsig45蛋白質活性のアнтаゴニストの存在を検出する方法であって、

zsig45刺激細胞経路に応答性のレポーター遺伝子構成体で、zsig45応答性細胞をトランスフェクトし、

請求項16記載の方法によりzsig45ポリペプチドを産生し、

被験試料の存在下および非存在下で、細胞にzsig45ポリペプチドを添加し、そして

被験試料の存在下および非存在下で、生物学的または生化学的測定法により、zsig45ポリペプチドに対する応答レベルを比較し、そして

この比較から、被験試料中のzsig45活性のアнтаゴニストの存在を決定する、

ことを含んでなる方法。

【請求項22】 被験試料中のzsig45蛋白質活性のアゴニストの存在を検出する方法であって、

zsig45刺激細胞経路に応答性のレポーター遺伝子構成体で、zsig45応答性細胞をトランスフェクトし、

被験試料を添加し、そして

被験試料の存在下および非存在下で、生物学的または生化学的測定法により、応答レベルを比較し、そして

この比較から、被験試料中のzsig45活性のアゴニストの存在を決定する、

ことを含んでなる方法。